

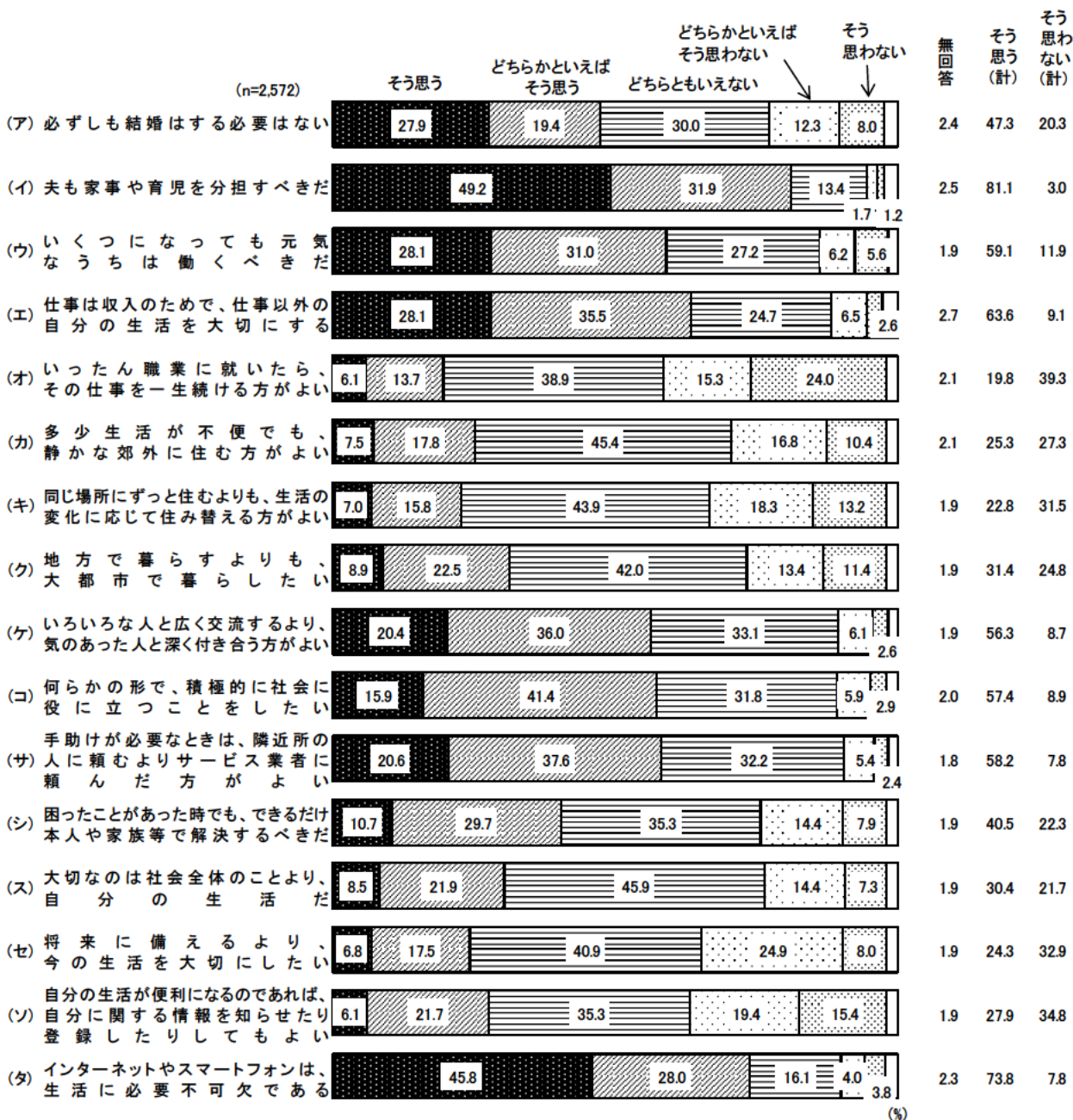
6. 生活価値観

問 15 次に挙げる項目について、あなたはどのように思いますか。当てはまるものをお選びください。
(○はそれぞれ1つ)

「夫も家事や育児を分担すべきだ」は『そう思う(計)』が8割を超える

(ア) 「必ずしも結婚はする必要はない」から(タ) 「インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である」までをみると、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた『そう思う(計)』は、16項目の中で、「夫も家事や育児を分担すべきだ」(81.1%)で8割を超えて最も多くなっている。一方、「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた『そう思わない(計)』は、「いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい」(39.3%)で4割近くと最も多くなっている。

図6-1-1 生活価値観 [全体]

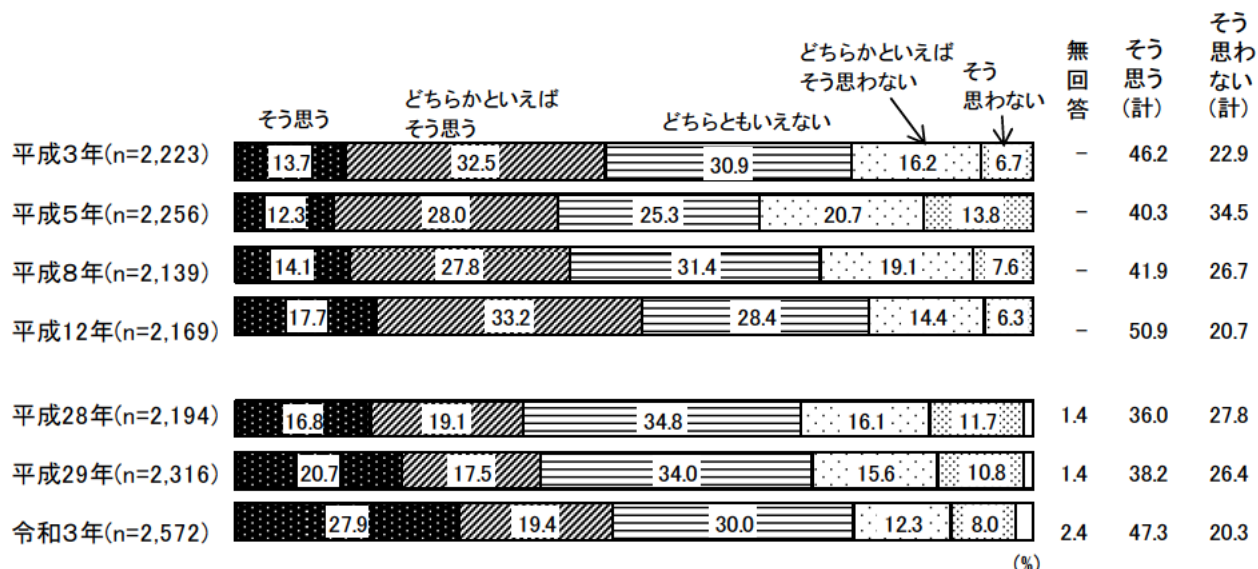


① 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔経年比較〕

『『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ9.1ポイント増加

経年比較をみると、平成28年調査以降『そう思う（計）』が増加しており、前回調査（平成29年）（38.2%）と比べ、9.1ポイント増加となっている。

図6-1-2 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔経年比較〕



※平成3年「結婚しない生き方も、これからはあたりまえになってくる」
平成5年、8年「これからは、結婚しないこともあたりまえになる」
平成12年「これからは結婚しない生き方も当たり前になる」であった。

(注)本報告書に掲載する生活価値観の経年比較において、平成12年以前については、「どちらともいえない」は、「どちらともいえない・わからない」としていた。

② 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔性・年代別〕

『そう思う（計）』は女性 18～29 歳で 7 割半ば

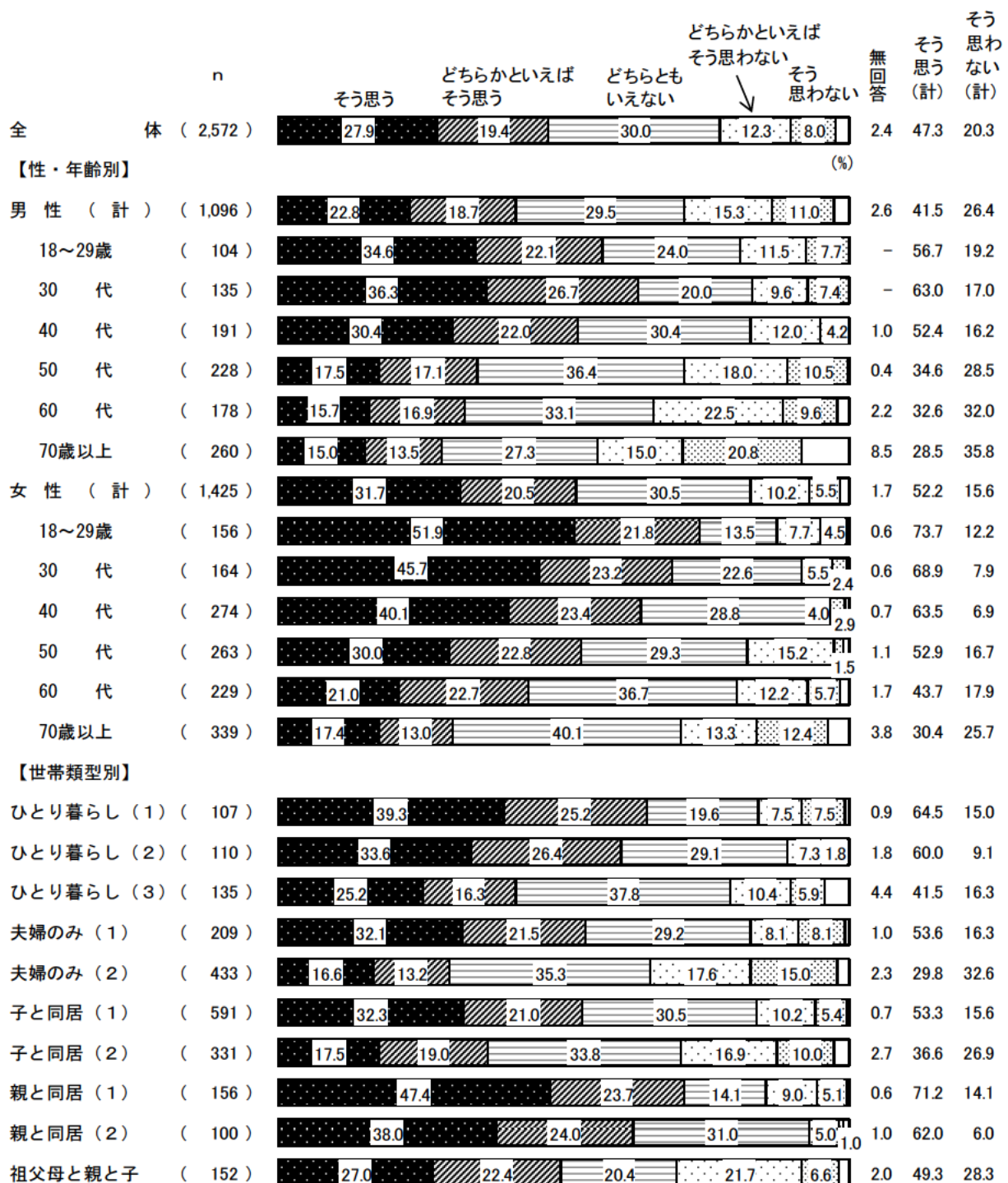
性・年齢別でみると、『そう思う（計）』は女性 18～29 歳（73.7%）で 7 割半ばと最も多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は男性 70 歳以上（35.8%）で 3 割半ばと最も多くなっている。

③ 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔世帯類型別〕

『そう思う（計）』は親と同居（1）で 7 割を超える

世帯類型別にみると、『そう思う（計）』は親と同居（1）（71.2%）で 7 割を超えて最も多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は夫婦のみ（2）（32.6%）で 3 割を超えて最も多くなっている。

図 6-1-3 生活価値観（ア）必ずしも結婚する必要はない〔性・年代別、世帯類型別〕

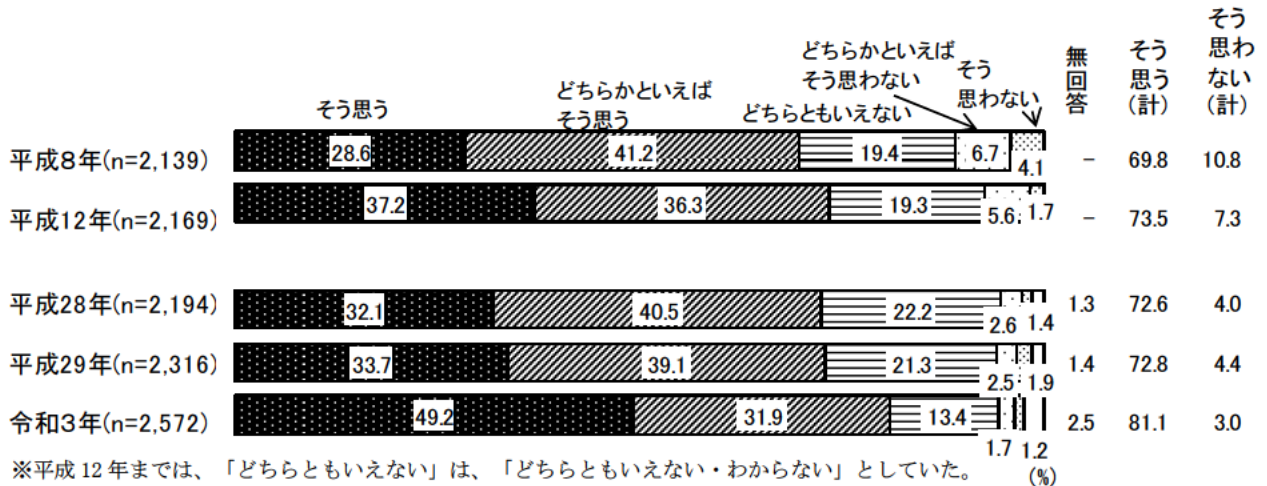


④ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ8.3ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成29年)（72.8%）と比べ、8.3ポイント増加となっている。

図6-1-4 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [経年比較]

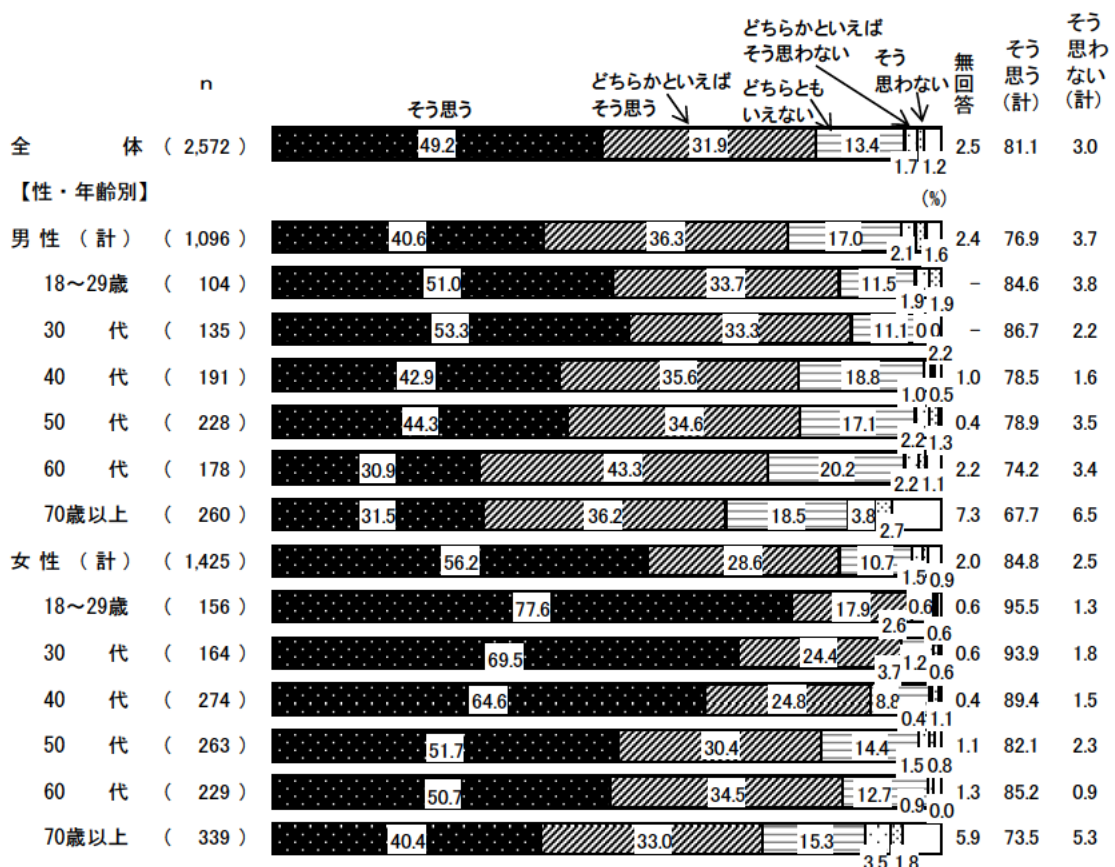


⑤ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [性・年代別]

『そう思う（計）』は女性18～29歳で9割半ば

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は女性18～29歳（95.5%）で9割半ばと最も多く、次いで女性30代（93.9%）、女性40代（89.4%）となっている。

図6-1-5 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [性・年齢別]



⑥ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [ライフステージ別]

『そう思う（計）』は夫婦だけ（1）で9割半ば

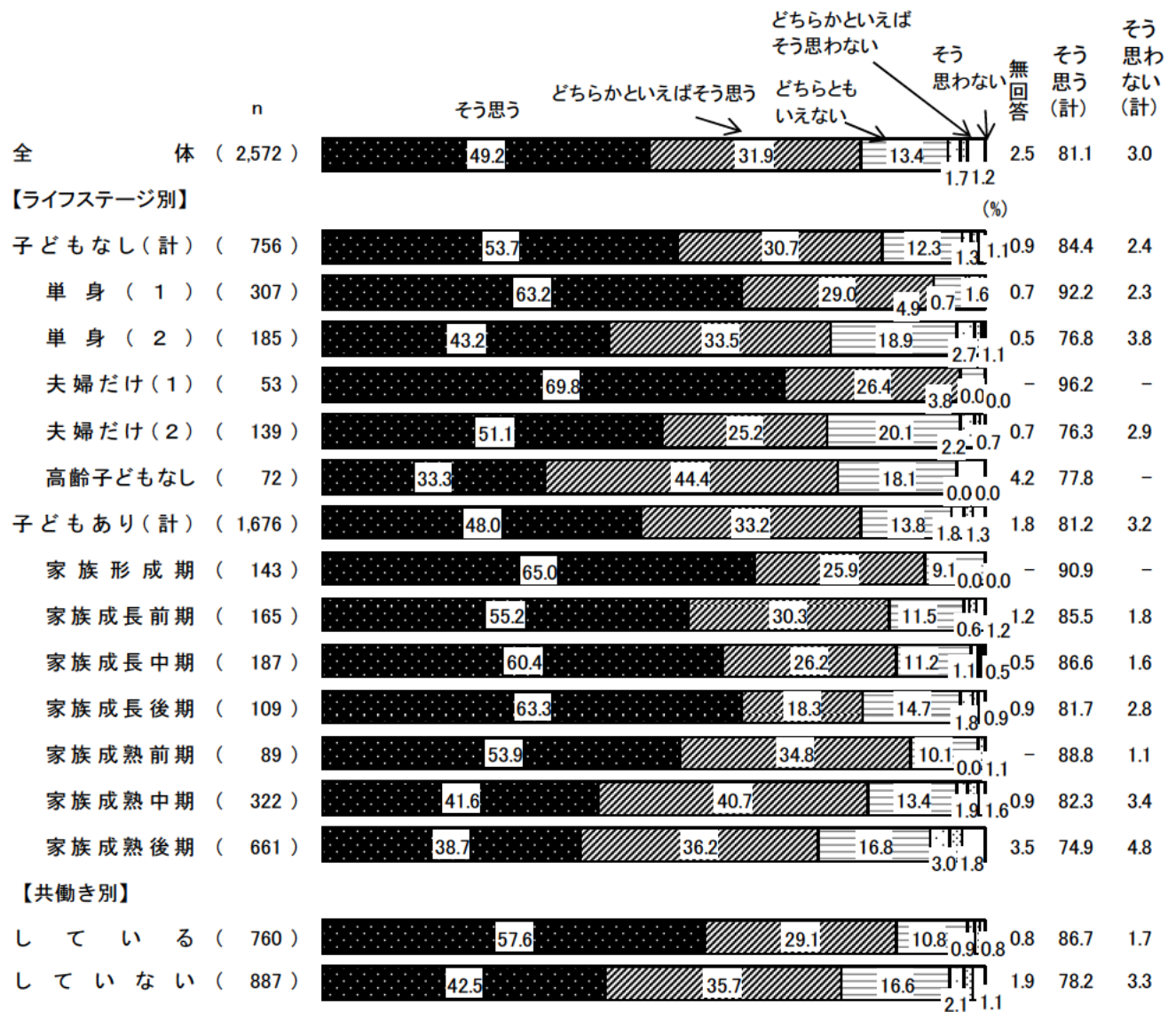
ライフステージ別にみると、『そう思う（計）』は夫婦だけ（1）（96.2%）で9割半ばと最も多くなっている。また、単身（1）（92.2%）、家族形成期（90.9%）でも9割を超えている。

⑦ 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [共働き別]

『そう思う（計）』は「共働きしている」で8割半ば

共働き別にみると、『そう思う（計）』は「共働きしている」（86.7%）で8割半ば、「共働きしていない」（78.2%）で8割近くとなっている。

図6-1-6 生活価値観（イ）夫も家事や育児を分担すべきだ [ライフステージ別、共働き別]

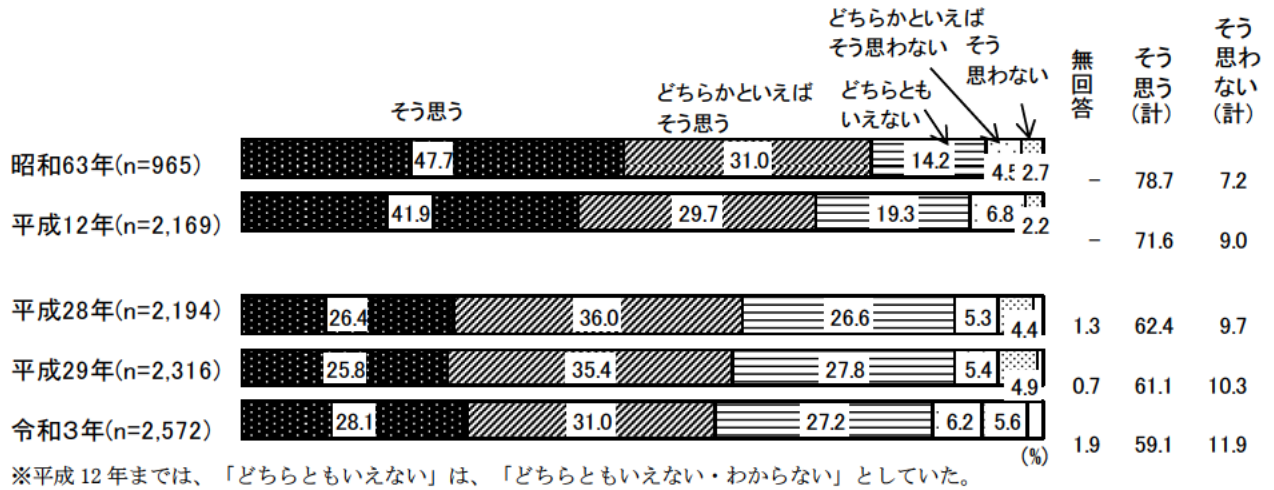


⑧ 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ〔経年比較〕

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ2.1ポイント減少

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（61.2%）と比べ、2.1ポイント減少となっている。

図6-1-7 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ〔経年比較〕

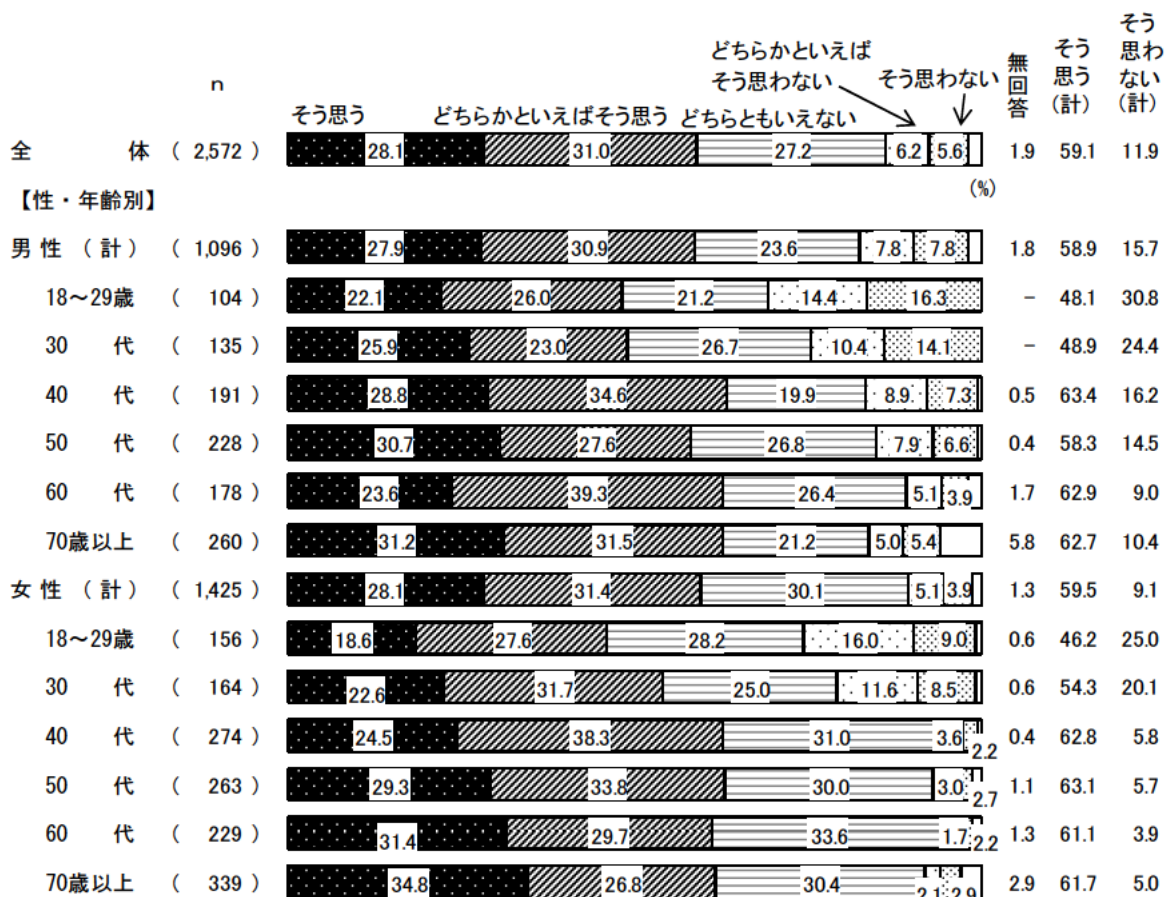


⑨ 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ〔性・年齢別〕

『そう思わない（計）』は男性18～29歳で3割を超える

性・年齢別にみると、『そう思わない（計）』は男性18～29歳（30.8%）で3割を超えて最も多くなっている。

図6-1-8 生活価値観（ウ）いくつになっても元気なうちは働くべきだ〔性・年齢別〕

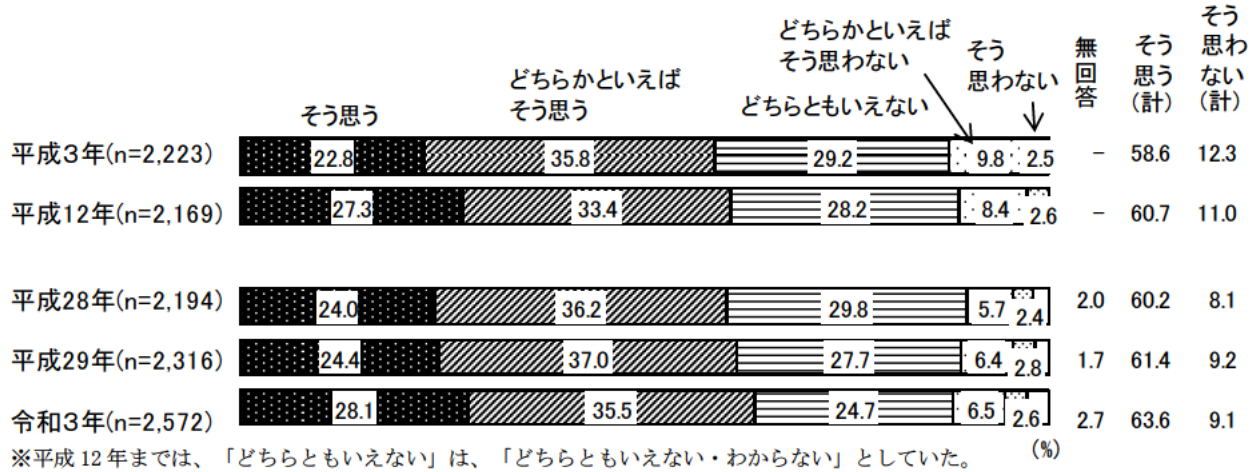


⑩ 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする〔経年比較〕

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ2.2ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（61.4%）と比べ、2.2ポイント増加となっている。

図6-1-9 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする〔経年比較〕

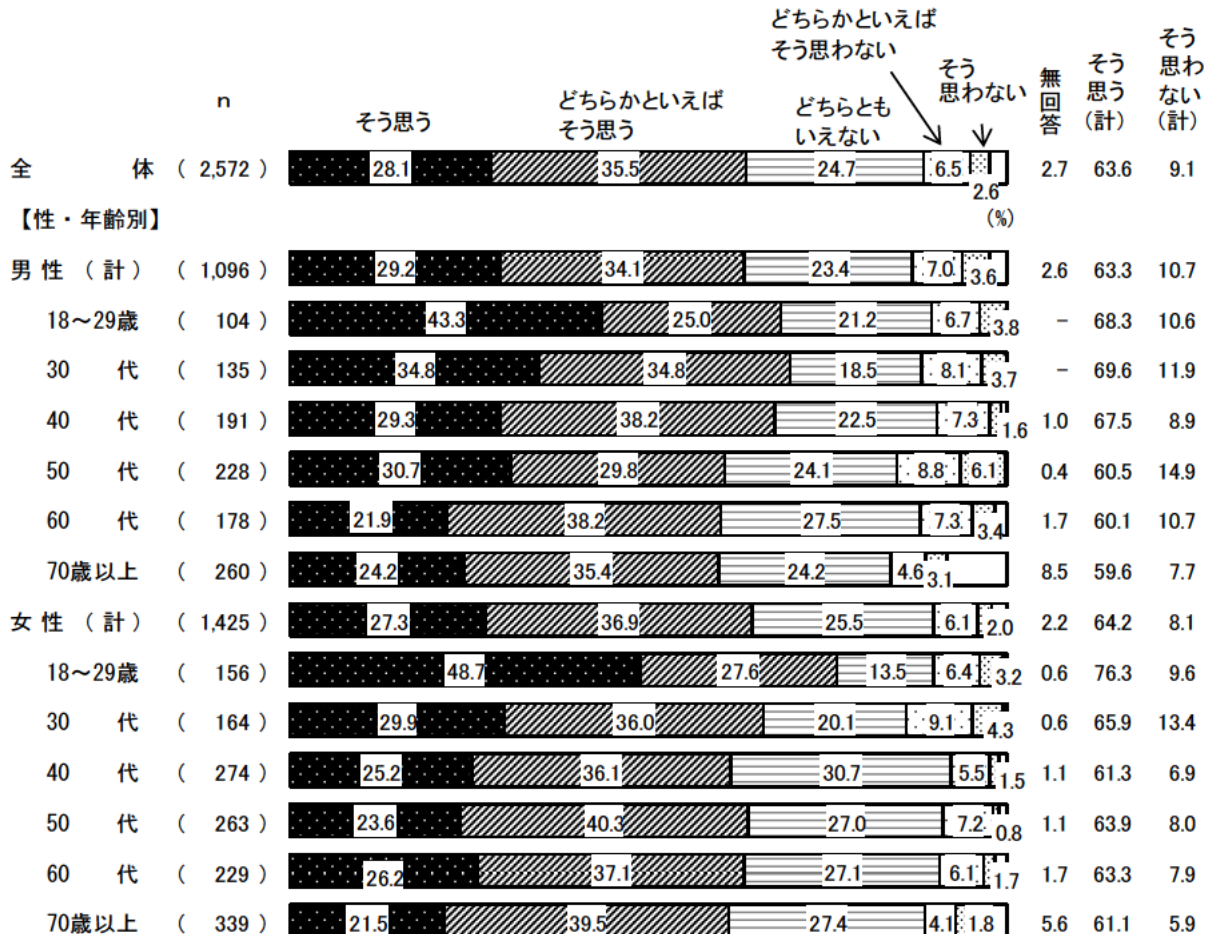


⑪ 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする〔性・年齢別〕

『そう思う（計）』は女性18~29歳で7割半ば

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は女性18~29歳（76.3%）で7割半ばと最も多くなっている。

図6-1-10 生活価値観（エ）仕事は収入のためで、仕事以外の自分の生活を大切にする〔性・年齢別〕

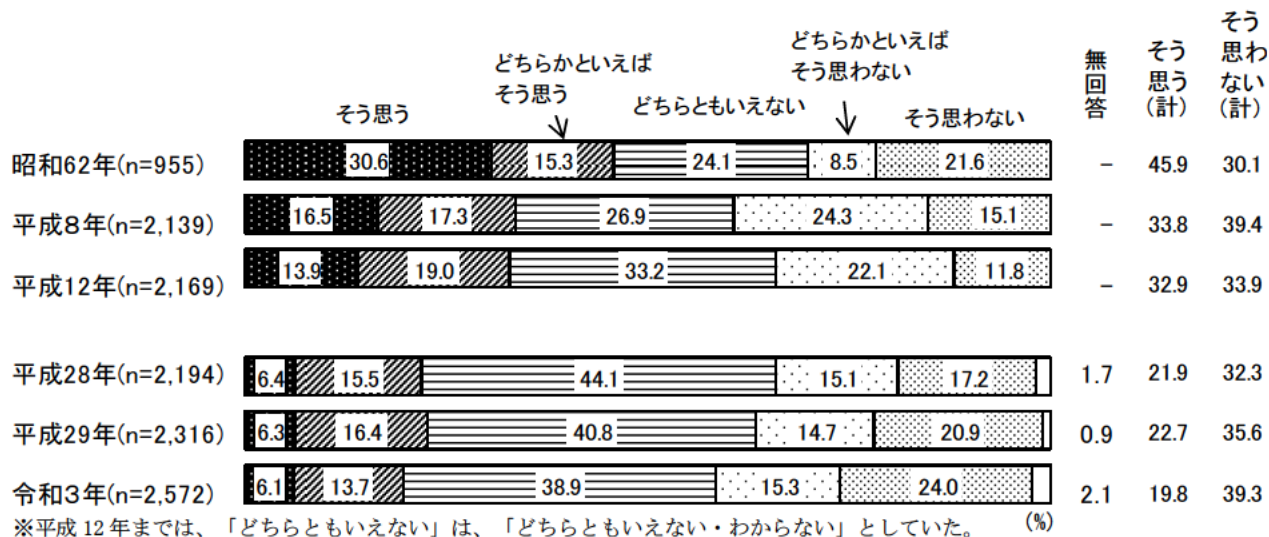


⑫ 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい〔経年比較〕

『そう思わない（計）』は前回調査（平成 29 年）と比べ 3.7 ポイント増加

経年比較をみると、『そう思わない（計）』が前回調査（平成 29 年）（35.6%）と比べ、3.7 ポイント増加となっている。

図 6-1-11 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい〔経年比較〕

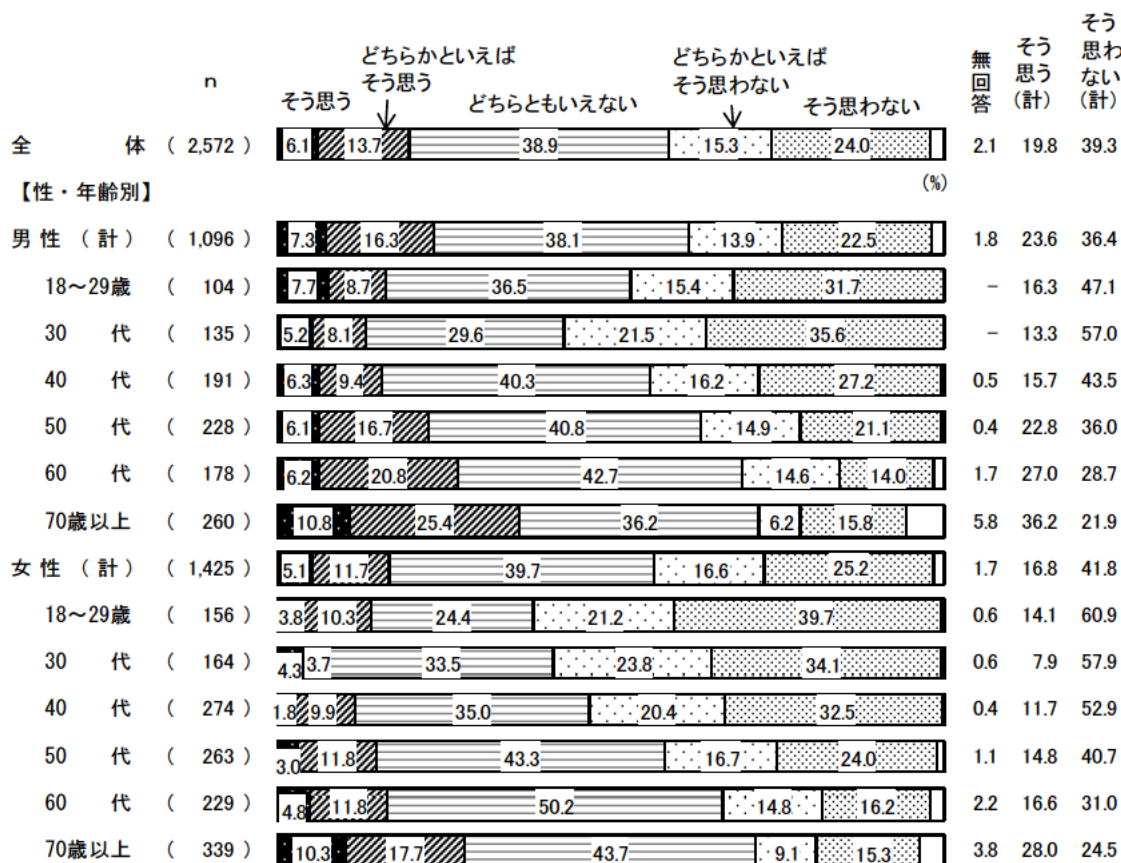


⑬ 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい〔性・年齢別〕

『そう思わない（計）』は女性 18～29 歳で 6 割を超える

性・年齢別にみると、『そう思わない（計）』は女性 18～29 歳（60.9%）で 6 割を超えて最も多くなっている。

図 6-1-12 生活価値観（オ）いったん職業に就いたら、その仕事を一生続ける方がよい〔性・年齢別〕

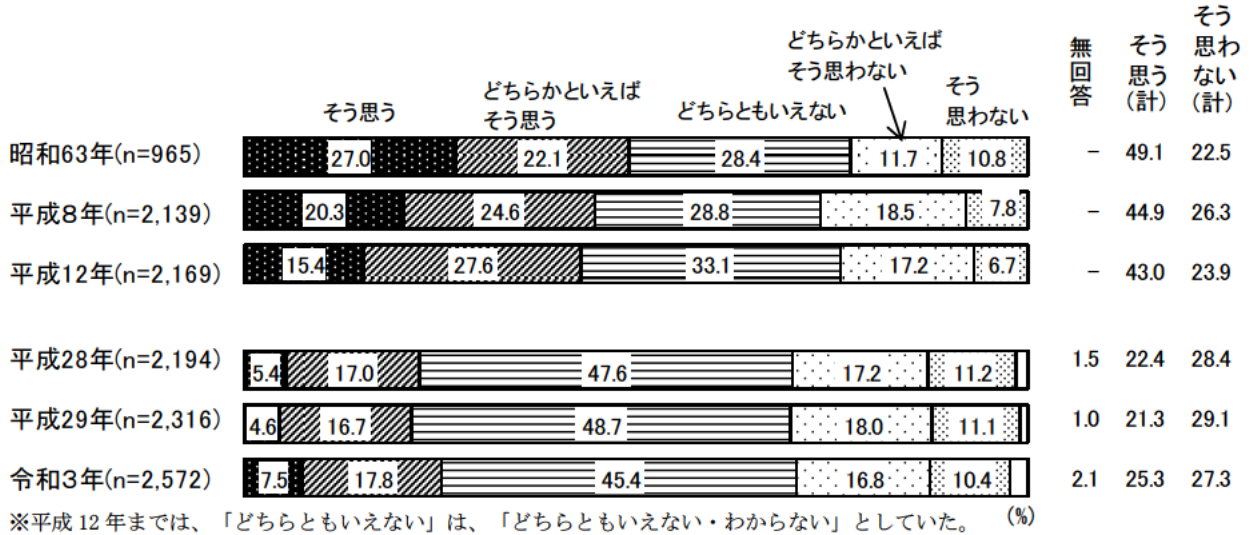


⑭ 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい〔経年比較〕

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ4.0ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（21.3%）と比べ、4.0ポイント増加となっている。

図6-1-13 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい〔経年比較〕

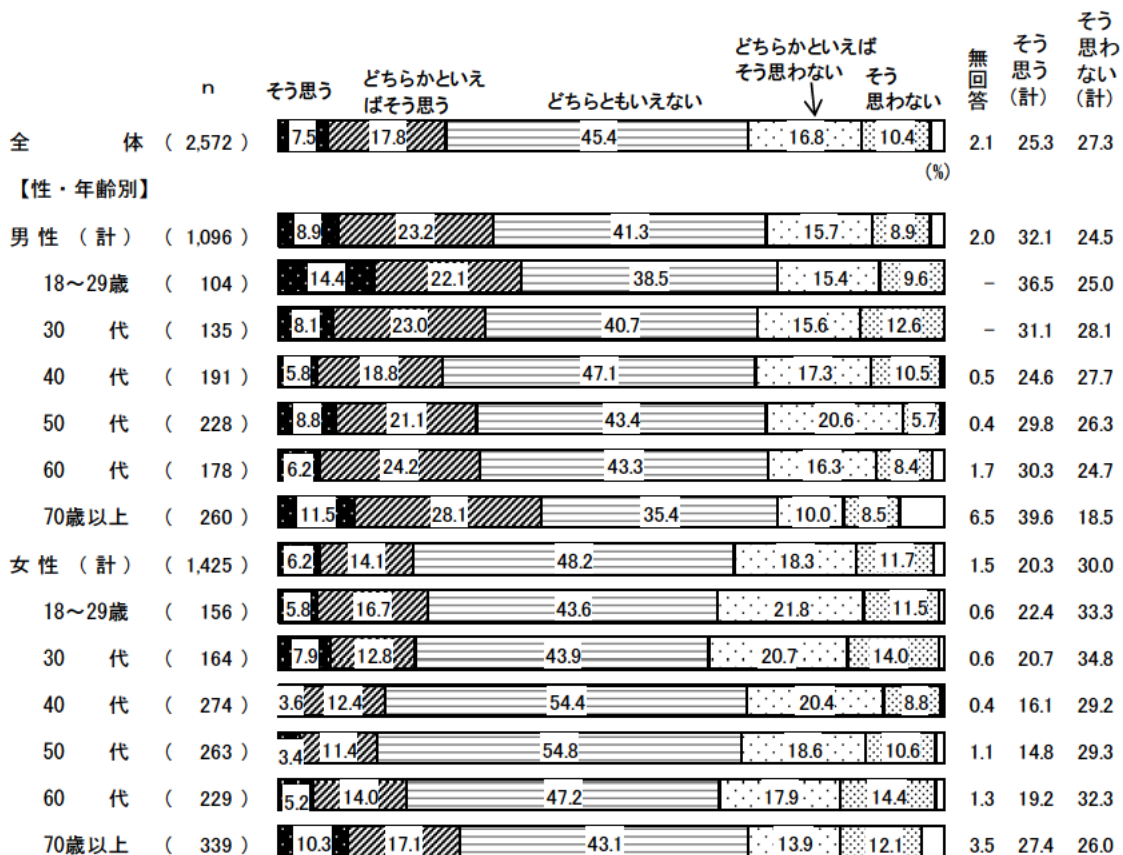


⑮ 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい〔性・年齢別〕

『そう思う（計）』は男性70歳以上で4割近く

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性70歳以上（39.6%）で4割近くと最も多くなっている。

図6-1-14 生活価値観（カ）多少生活が不便でも、静かな郊外に住む方がよい〔性・年齢別〕

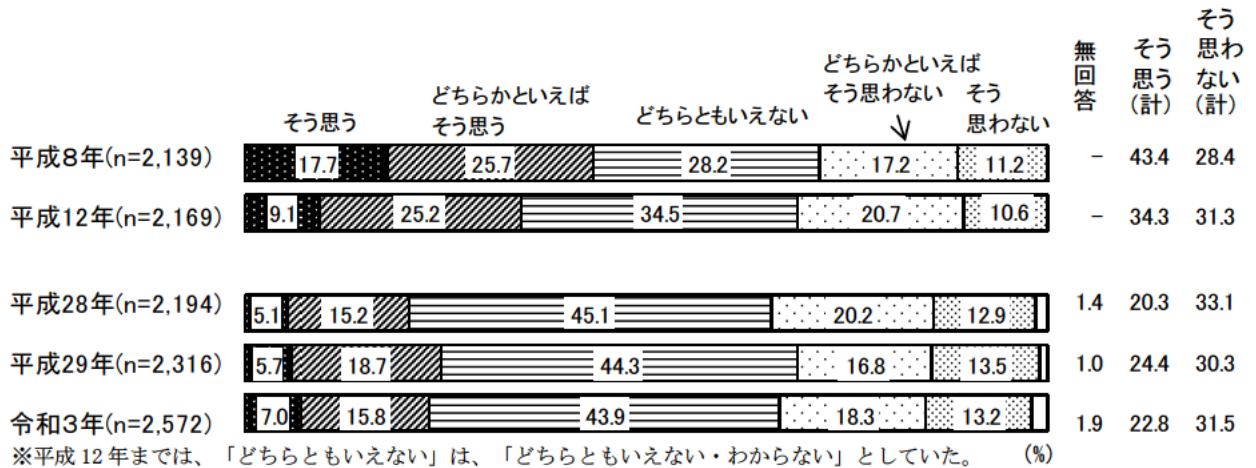


⑩ 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ1.6ポイント減少

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（24.4%）と比べ、1.6ポイント減少となっている。

図6-1-15 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [経年比較]

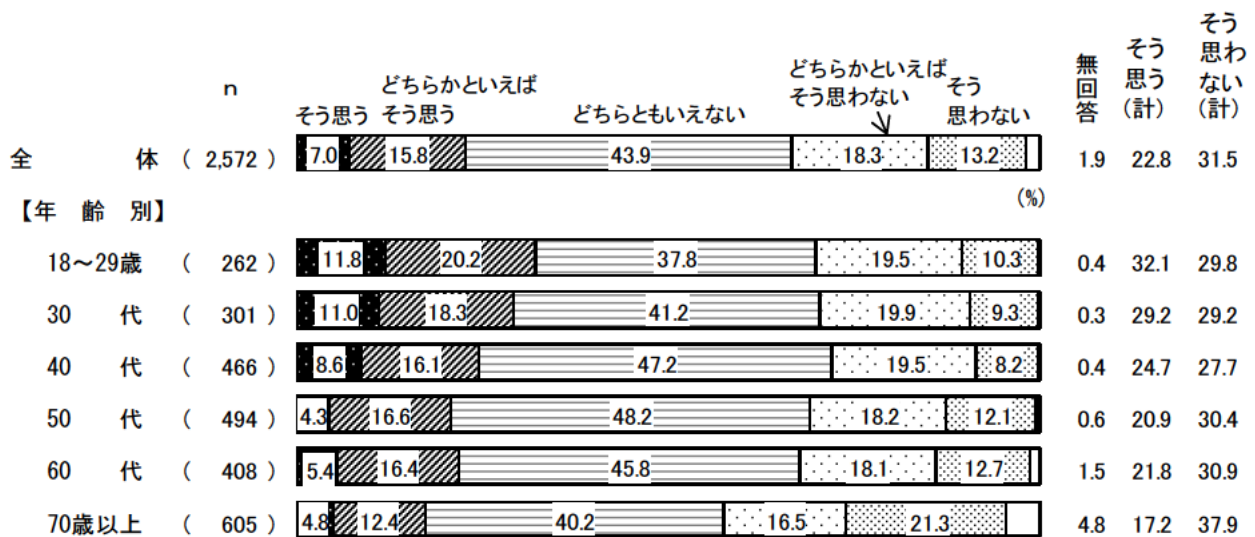


⑪ 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [年齢別]

『そう思わない（計）』は70歳以上で3割半ば

年齢別にみると、『そう思わない（計）』は70歳以上（37.9%）で3割半ばと最も多くなっている。

図6-1-16 生活価値観（キ）同じ場所にずっと住むよりも、生活の変化に応じて住み替える方がよい [年齢別]

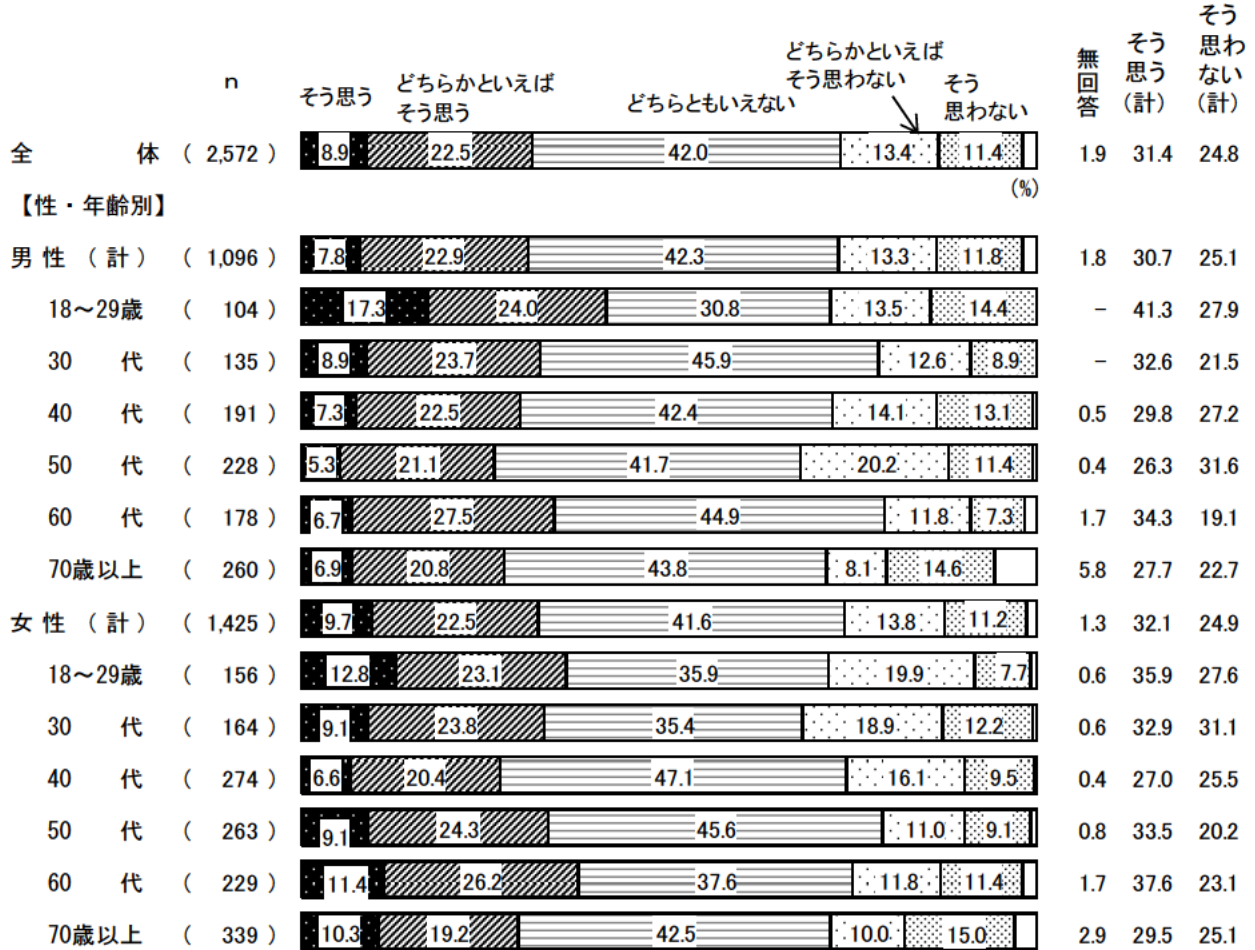


⑩ 生活価値観（ク）地方で暮らすよりも、大都市で暮らしたい【性・年齢別】

『そう思う（計）』は男性18～29歳で4割を超える

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性18～29歳（41.3%）で4割を超えて最も多くなっている。

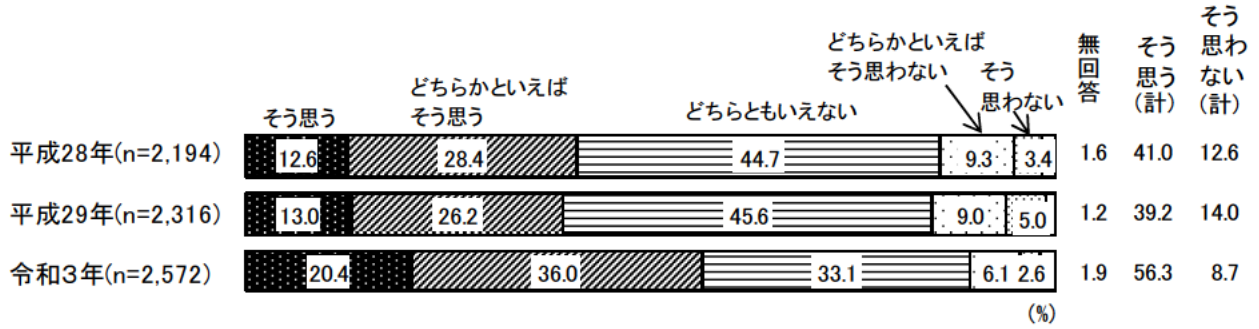
図6-1-17 生活価値観（ク）地方で暮らすよりも、大都市で暮らしたい【性・年齢別】



⑱ 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [経年比較]
『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ17.1ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（39.2%）と比べ、17.1ポイント増加となっている。

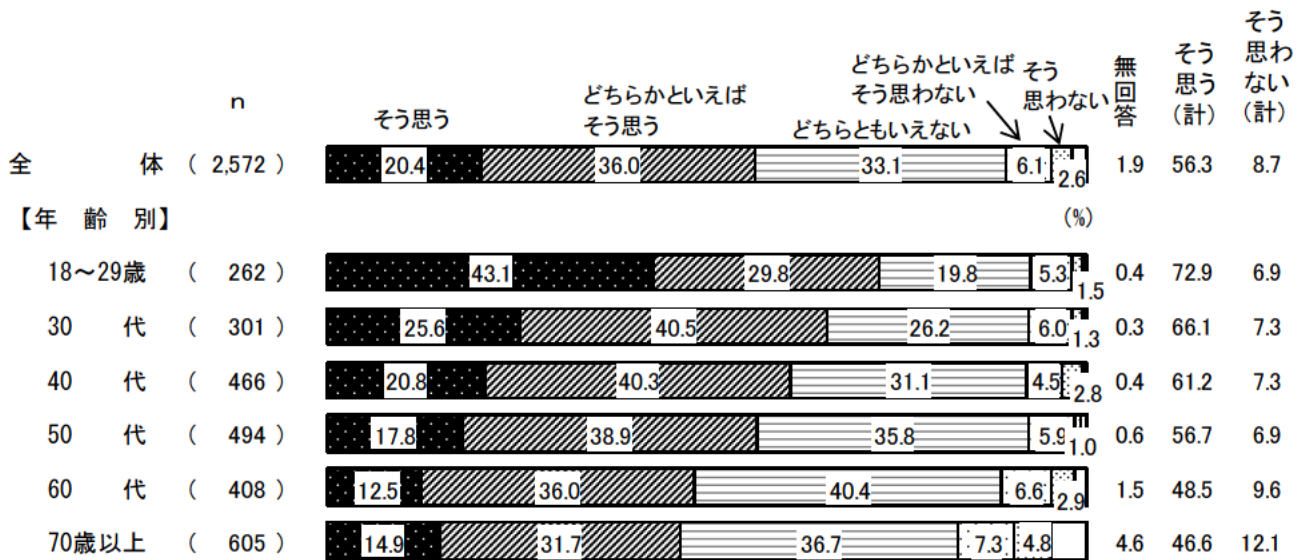
図6-1-18 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [経年比較]



⑳ 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [年齢別]
『そう思う（計）』は18～29歳で7割を超える

年齢別にみると、『そう思う（計）』は18～29歳（72.9%）で7割を超えて最も多くなっている。

図6-1-19 生活価値観（ケ）いろいろな人と広く交流するより、気のあった人と深く付き合う方がよい [年齢別]

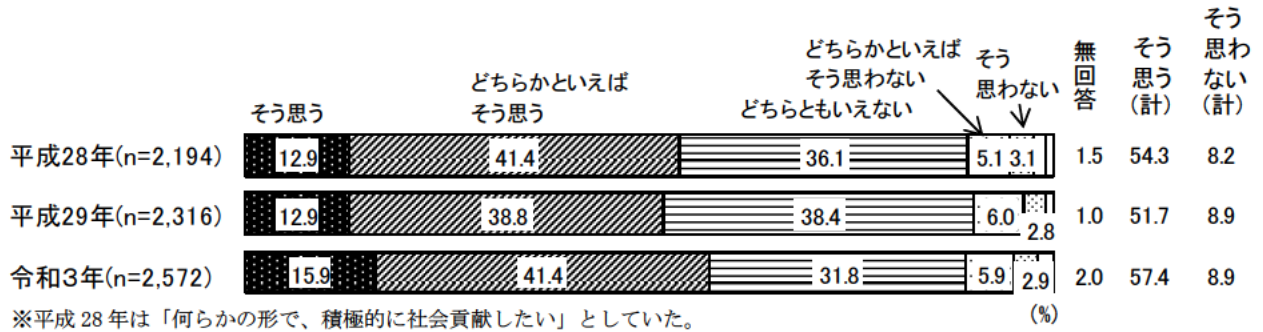


② 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ5.7ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（51.7%）と比べ、5.7ポイント増加となっている。

図6-1-20 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [経年比較]

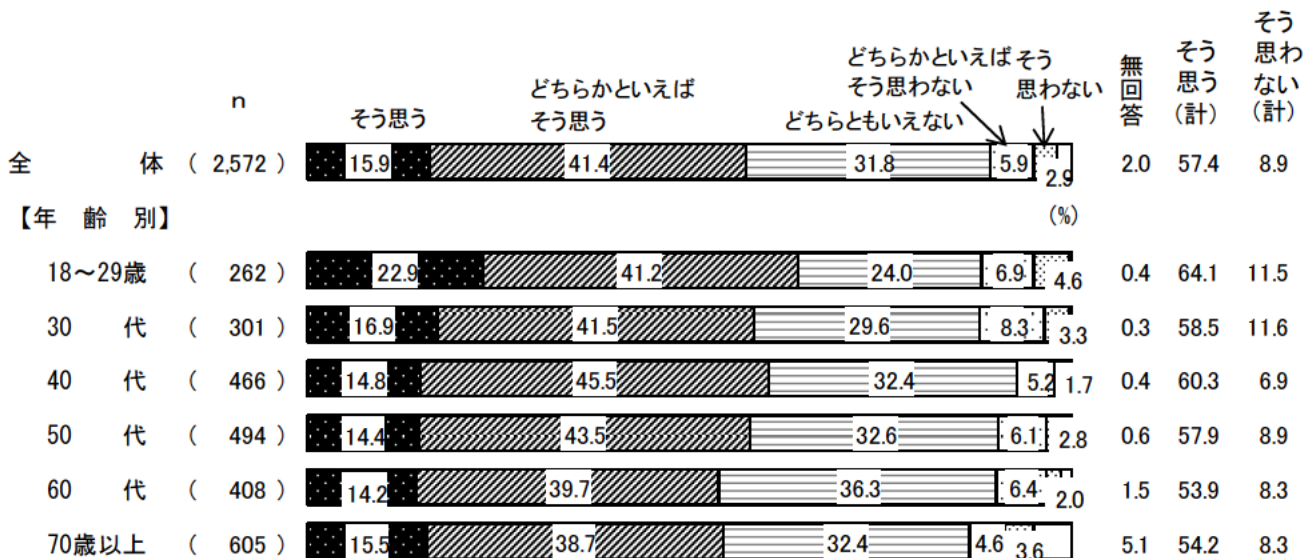


② 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [年齢別]

『そう思う（計）』は18~29歳で6割半ば

年齢別にみると、『そう思う（計）』は18~29歳（64.1%）で6割半ばと最も多くなっている。

図6-1-21 生活価値観（コ）何らかの形で、積極的に社会に役に立つことをしたい [年齢別]

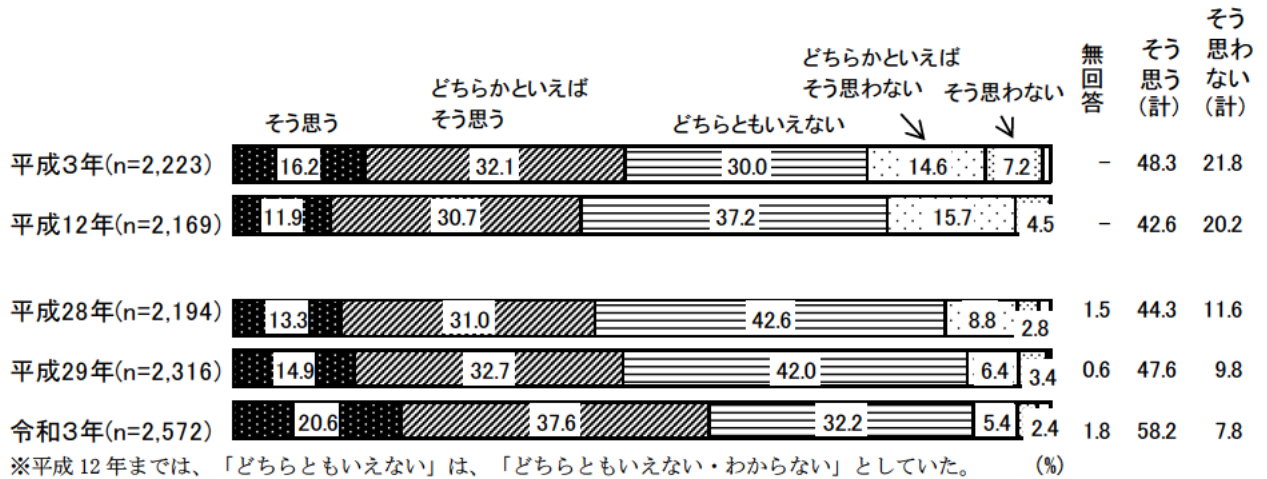


②③ 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔経年比較〕

『そう思う（計）』は前回調査（平成29年）と比べ10.6ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査（平成29年）（47.6%）と比べ、10.6ポイント増加となっている。

図6-1-22 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔経年比較〕

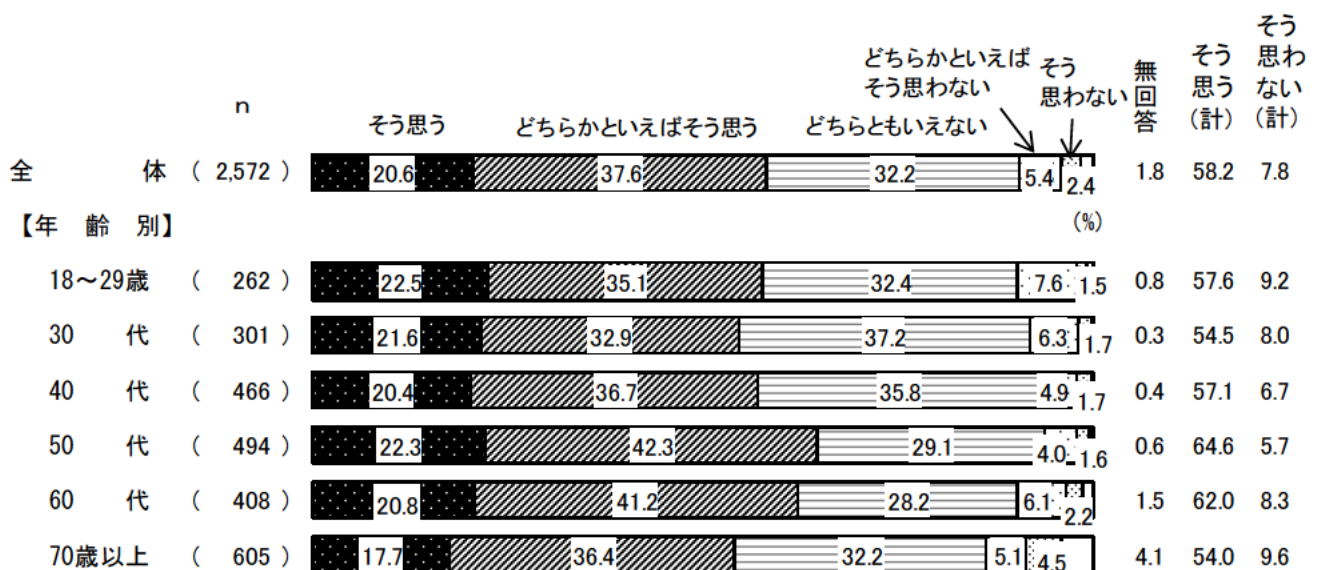


②④ 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔年齢別〕

『そう思う（計）』は50代で6割半ば

年齢別にみると、『そう思う（計）』は50代（64.6%）で6割半ばと最も多くなっている。

図6-1-23 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい〔年齢別〕

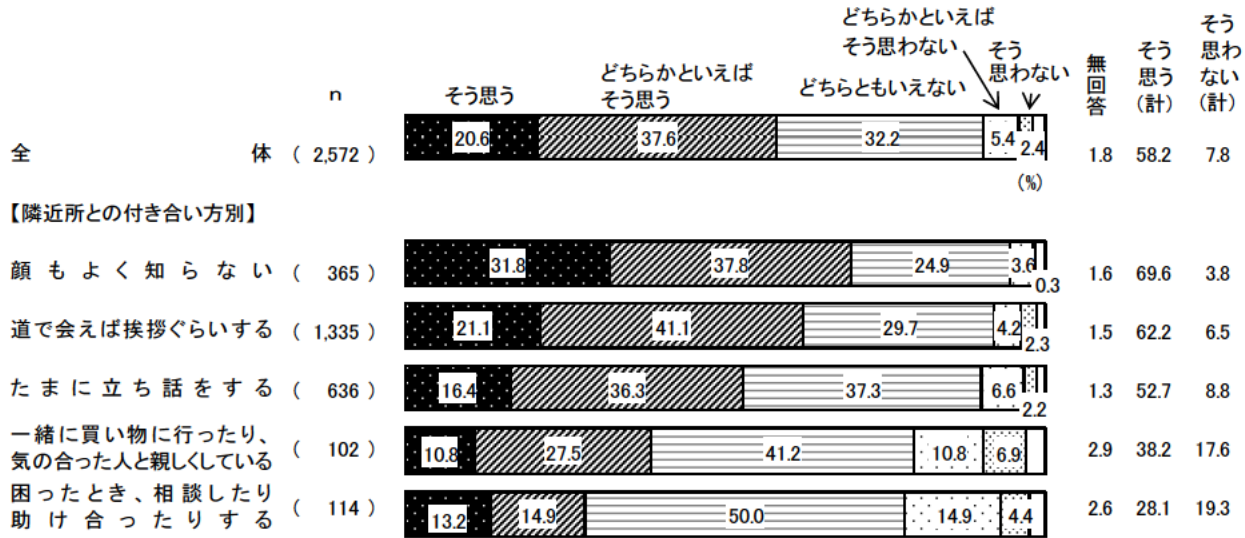


㊸ 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい【隣近所との付き合い方別】

『そう思う（計）』は「顔もよく知らない」で7割近く

隣近所との付き合い方別にみると、『そう思う（計）』は「顔もよく知らない」（69.6%）で7割近くと最も多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は「困ったとき、相談したり助け合ったりする」（19.3%）で2割近くと最も多くなっている。

図6-1-24 生活価値観（サ）手助けが必要なときは、隣近所の人に頼むよりサービス業者に頼んだ方がよい【隣近所との付き合い方別】

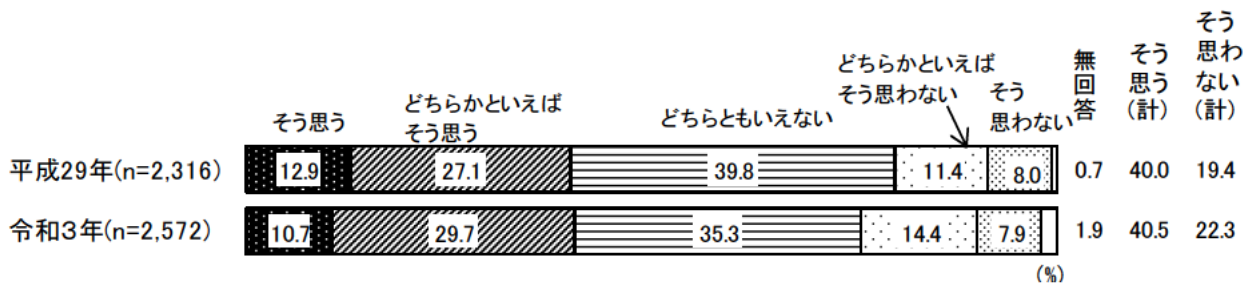


㊸ 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決するべきだ【経年比較】

『そう思わない（計）』は前回調査(平成29年)と比べ2.9ポイント増加

経年比較をみると、『そう思わない（計）』が前回調査(平成29年)（19.4%）と比べ、2.9ポイント増加となっている。

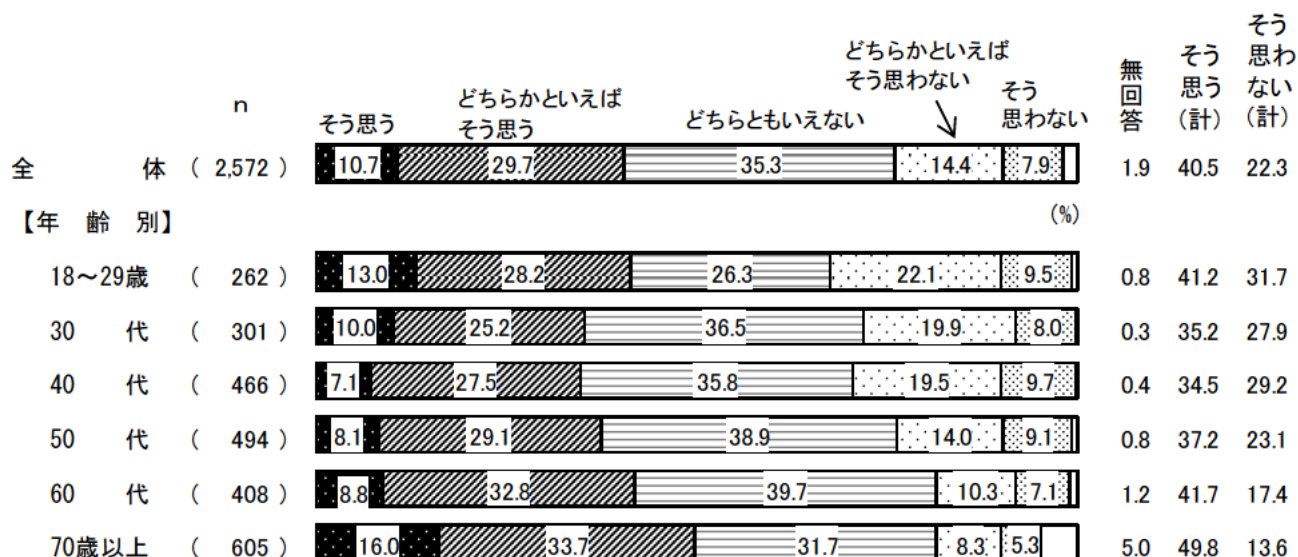
図6-1-25 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決するべきだ【経年比較】



⑳ 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ [年齢別]
『そう思う（計）』は70歳以上で5割近く

年齢別にみると、『そう思う（計）』は70歳以上（49.8%）で5割近くと最も多くなっている。

図6-1-26 生活価値観（シ）困ったことがあった時でも、できるだけ本人や家族等で解決すべきだ [年齢別]

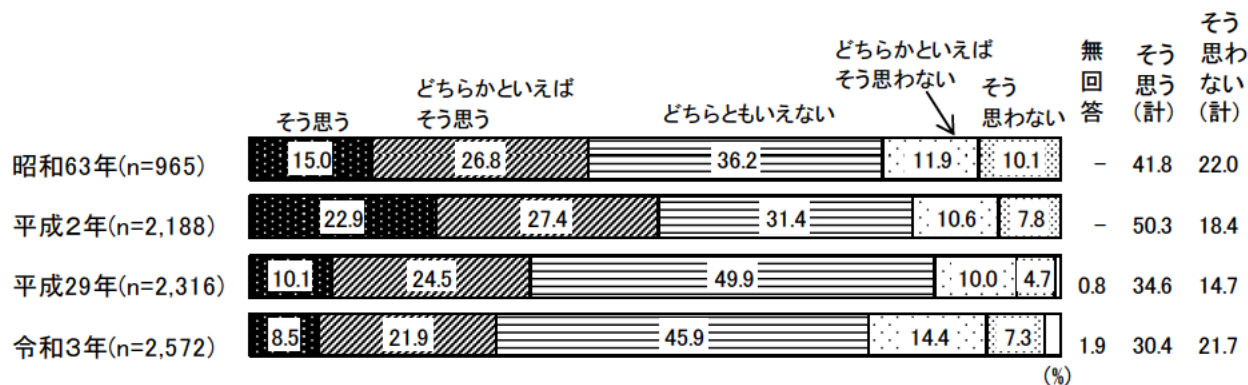


㉑ 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ [経年比較]

『そう思わない（計）』は前回調査(平成29年)と比べ7.0ポイント増加

経年比較をみると、『そう思わない（計）』が前回調査(平成29年)（14.7%）と比べ、7.0ポイント増加となっている。

図6-1-27 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ [経年比較]



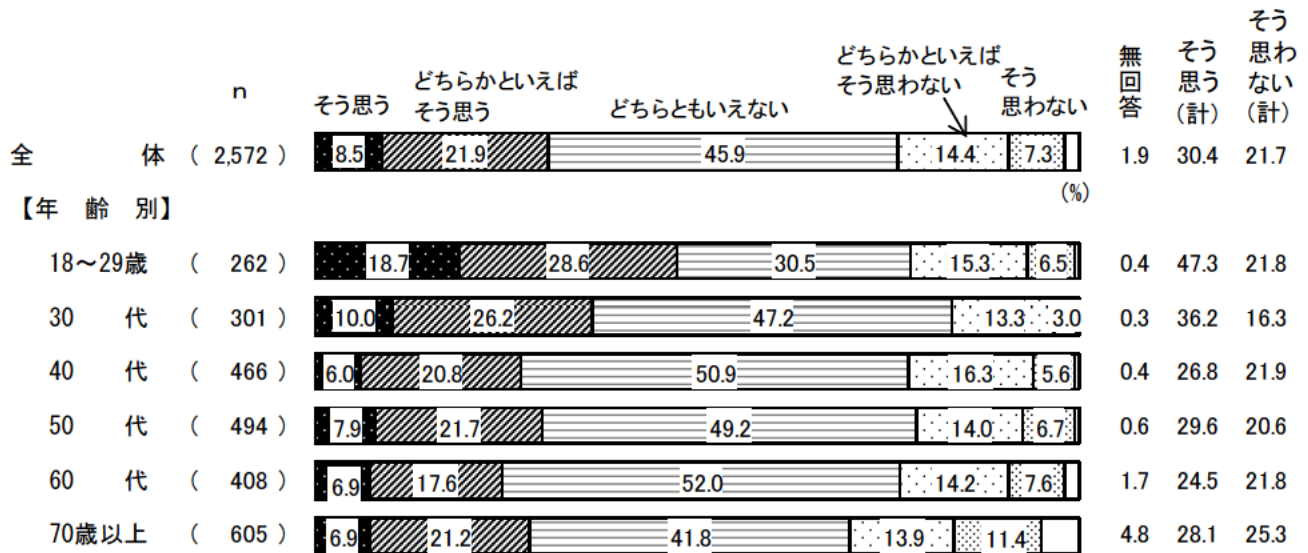
※昭和63年、平成2年調査は、「どちらともいえない」は、「どちらともいえない・わからない」としていた。

⑳ 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ〔年齢別〕

『そう思う（計）』は18～29歳で4割半ば

年齢別にみると、『そう思う（計）』は18～29歳（47.3%）で4割半ばと最も多くなっている。

図6-1-28 生活価値観（ス）大切なのは社会全体のことより、自分の生活だ〔年齢別〕

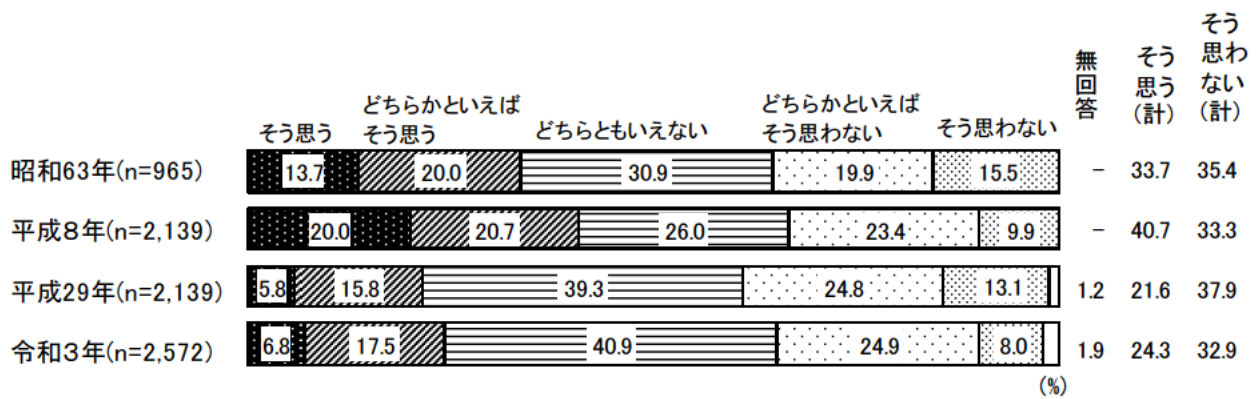


㉑ 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔経年比較〕

『そう思う（計）』は前回調査(平成29年)と比べ2.7ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成29年)（21.6%）と比べ、2.7ポイント増加となっている。

図6-1-29 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔経年比較〕



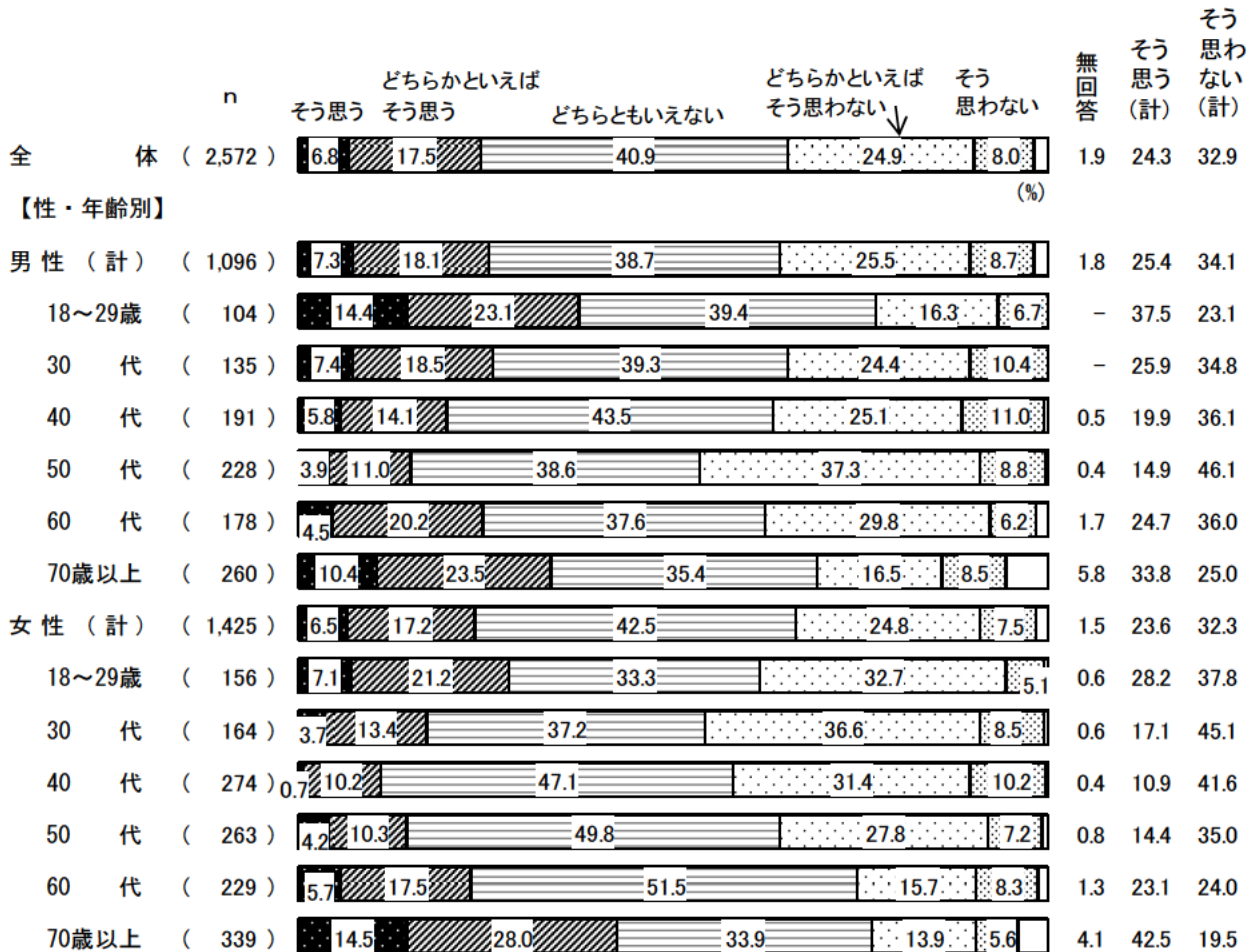
※昭和63年、平成8年調査は、「どちらともいえない」は、「どちらともいえない・わからない」としていた。

③ 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔性・年齢別〕

『そう思わない（計）』は男性50代、女性30代で4割半ば

性・年齢別にみると、『そう思わない（計）』は男性50代（46.1%）、女性30代（45.1%）で4割半ばとなっている。

図6-1-30 生活価値観（セ）将来に備えるより、今の生活を大切にしたい〔性・年齢別〕

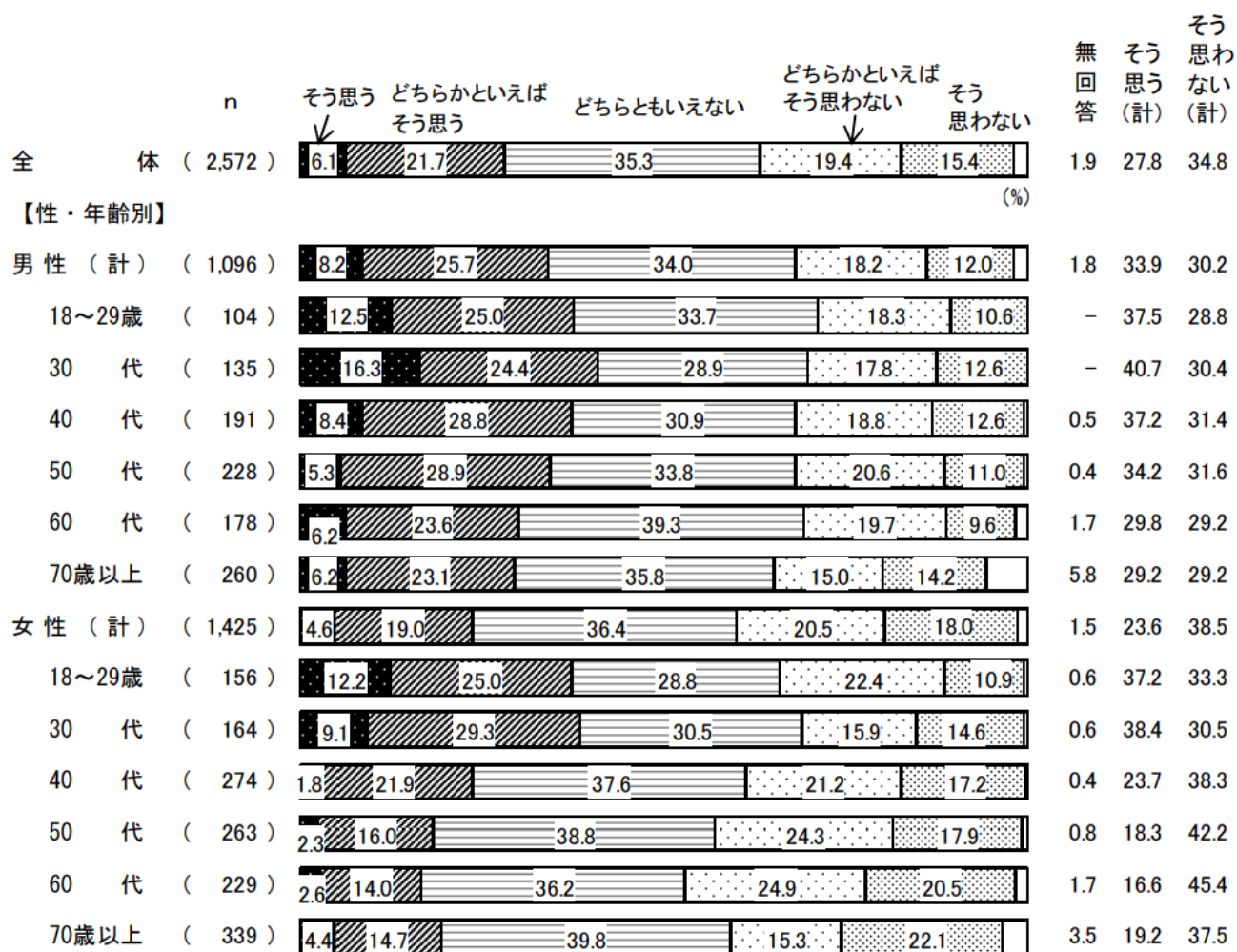


③② 生活価値観（ソ）自分の生活が便利になるのであれば、自分に関する情報を知らせたり登録したりしてもよい【性・年齢別】

『そう思う（計）』は男性30代で4割を超える

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は男性30代（40.7%）で4割を超えて最も多く、女性30代（38.4%）でも4割近くとなっている。一方、『そう思わない（計）』は女性60代（45.4%）で4割半ばと最も多くなっている。

図6-1-31 生活価値観（ソ）自分の生活が便利になるのであれば、自分に関する情報を知らせたり登録したりしてもよい【性・年齢別】

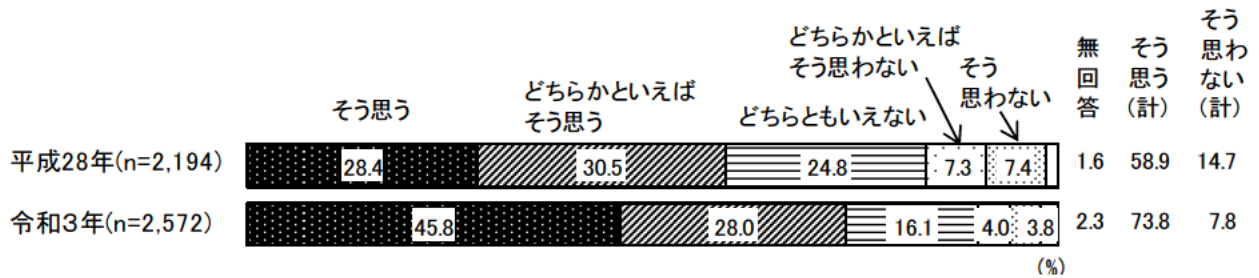


③③ 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [経年比較]

『そう思う（計）』は前回調査(平成28年)と比べ14.9ポイント増加

経年比較をみると、『そう思う（計）』が前回調査(平成28年)（58.9%）と比べ、14.9ポイント増加となっている。

図6-1-32 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [経年比較]

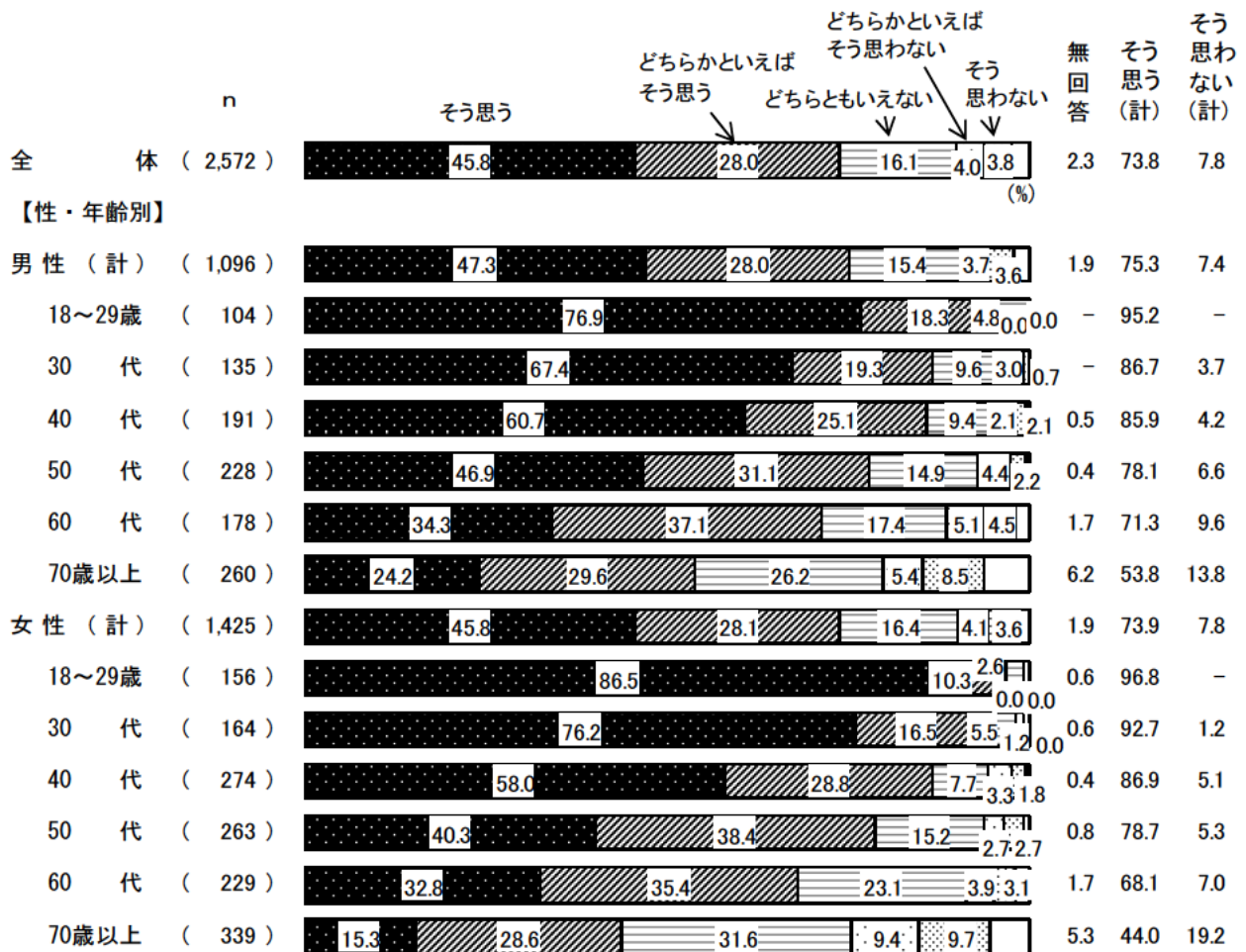


③④ 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [性・年齢別]

『そう思う（計）』は女性18~29歳で9割半ば

性・年齢別にみると、『そう思う（計）』は女性18~29歳（96.8%）、男性18~29歳（95.2%）で9割半ばとなっており、男女共に年齢が高くなるにつれ少なくなっている。

図6-1-33 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である [性・年齢別]



㊸ 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である【自分に関する情報に対する価値観】

『そう思わない（計）』は「自分に関する情報を知らせたり登録してもよいと思わない」で2割近く生活価値観（ソ）「自分の生活が便利になるのであれば、自分に関する情報を知らせたり登録したりしてもよい」への回答別にみると、『そう思う（計）』は「自分に関する情報を知らせたり登録してもよい」に対し『そう思う（計）』（86.7%）、「どちらかといえばそう思う」（87.7%）と回答した人で、8割半ばと多くなっている。一方、『そう思わない（計）』は自分に関する情報を知らせたり登録してもよいと「思わない」（18.6%）で2割近くと最も多くなっている。

図6-1-34 生活価値観（タ）インターネットやスマートフォンは、生活に必要不可欠である【自分に関する情報に対する価値観】

